

34. 福島県における農業用水の現在の水質

福島県農業試験場農芸化学部・平成11年度夏作試験成績概要

1 部門名 農業環境－農業環境－環境汚染 11－01－36149900

2 担当者 半澤勝拓 野木照修

3 要 旨

平成8年から平成11年にわたり福島県内113カ所の農業用水の水質を調査した。

- (1) 現在の農業用水は、10年前に比べてCODが明らかに低下し、ほとんどの水路が農業用水基準(6mg L⁻¹)以下である。
- (2) 全窒素(T-N)濃度は、農業用水基準(1mg L⁻¹)を越えている水路が現在でも多くみられる。
- (3) 現在、全窒素(T-N)濃度が高い水路は、福島市、郡山市、白河市、会津若松市、原町市などの都市部及び都市周辺の農村部に立地する水路である。このことは、農業用水の全窒素(T-N)濃度を高める原因は、現在でも生活雑排水などの都市排水によるところが大きいと考えられる。
- (4) 全窒素(T-N)濃度の大半は、硝酸態窒素(NO₃-N)である。
- (5) 農業用水の水質保全のためにも窒素濃度、特に硝酸態窒素を重視した水質保全の施策が必要である。